

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年7月14日
【四半期会計期間】	第47期第1四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	株式会社スタジオアリス
【英訳名】	STUDIO ALICE Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 牧野 俊介
【本店の所在の場所】	大阪市北区梅田一丁目8番17号
【電話番号】	(06)6343-2600
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 宗岡 直彦
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区梅田一丁目8番17号
【電話番号】	(06)6343-2600
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 宗岡 直彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第1四半期連結 累計期間	第47期 第1四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年5月31日	自2020年3月1日 至2020年5月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	8,971,547	4,250,454	38,879,090
経常利益(は損失) (千円)	110,760	1,974,810	3,330,424
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(は損失) (千円)	127,403	1,858,022	1,209,620
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	143,516	1,933,288	1,258,601
純資産額 (千円)	23,347,730	21,967,351	24,749,848
総資産額 (千円)	33,783,009	37,833,250	34,591,201
1株当たり四半期(当期)純利益金額(は損失) (円)	7.50	109.40	71.22
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.9	55.1	68.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第46期第1四半期連結累計期間及び第47期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第46期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの企業活動や消費動向に影響を与え、依然として終息が見えないことから景気の先行きが見通せない状況となっております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響による店舗の状況につきましては、4月7日に発令された緊急事態宣言対象区域である7都府県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・大阪府・兵庫県・福岡県）内全ての240店舗で4月11日から臨時休業し、その後、4月16日に緊急事態宣言の対象区域が全国に発令されたことを受け、4月20日から全都道府県内の489店舗を臨時休業いたしました。当第1四半期連結累計期間末時点では、安全対策を万全にした上で481店舗が営業を再開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,250百万円（前年同期比52.6%の減少）、営業損失は1,956百万円（前年同期は103百万円の営業利益）、経常損失は1,974百万円（前年同期は110百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,858百万円（前年同期は127百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（写真事業）

写真事業は、入園入学・卒園卒業撮影、並びに、お節句撮影等の推進に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のための外出自粛や、同ウイルスの感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言の発令に伴う全店舗の臨時休業により、撮影件数は前年同期を下回りました。

国内子ども写真館の出店状況は、ショッピングセンター内の区画移動を含む改装を15店舗実施し、退店4店舗を行いました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館489店舗（直営店舗480店・フランチャイズ店舗9店）、韓国の子会社における子ども写真館2店舗を含め、491店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は4,237百万円（前年同期比52.4%の減少）、セグメント損失は1,945百万円（前年同期は111百万円のセグメント利益）となりました。

（衣装製造卸売事業）

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社豊匠、および、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、当社向け衣装の更なる生産効率の向上によるコスト低減を図るとともに、当社が2020年1月にスタートした新たな振袖レンタルサービス（『ふりホ』）に関わる衣装・小物の調達に注力いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は955百万円（前年同期比46.2%の増加）、セグメント利益は150百万円（前年同期比40.4%の増加）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ3,242百万円増加し37,833百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比べ2,195百万円増加の17,403百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,046百万円増加の20,429百万円となりました。

負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ6,024百万円増加し15,865百万円となりました。

流動負債は、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、企業活動の混乱や停滞等が継続するような不測の事態に備えて、手元資金を厚くすることを目的に行った短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ5,622百万円増加の11,550百万円となりました。

固定負債は、固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ401百万円増加の4,315百万円となりました。

純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ2,782百万円減少し21,967百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,888,000
計	30,888,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,185,650	17,185,650	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	17,185,650	17,185,650	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	17,185,650	-	1,885,950	-	2,055,449

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 201,400	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,965,700	169,657	同上
単元未満株式	普通株式 18,550	-	1単元(100株) 未満の株式
発行済株式総数	17,185,650	-	-
総株主の議決権	-	169,657	-

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)スタジオアリス	大阪市北区梅田 1-8-17	201,400	-	201,400	1.17
計	-	201,400	-	201,400	1.17

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,072,650	13,598,391
受取手形及び売掛金	838,574	567,835
たな卸資産	1,803,783	1,587,790
その他	1,523,508	1,662,571
貸倒引当金	30,000	13,000
流動資産合計	15,208,516	17,403,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,302,333	8,116,539
その他(純額)	4,377,273	4,904,579
有形固定資産合計	12,679,606	13,021,118
無形固定資産		
991,874		925,939
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,316,671	3,321,404
その他	2,616,532	3,383,199
貸倒引当金	222,000	222,000
投資その他の資産合計	5,711,204	6,482,604
固定資産合計	19,382,685	20,429,662
資産合計	34,591,201	37,833,250
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,225	168,691
短期借入金	-	7,050,000
未払法人税等	581,165	114,781
賞与引当金	182,332	89,100
ポイント引当金	92,500	93,260
その他	4,831,377	4,034,645
流動負債合計	5,927,600	11,550,479
固定負債		
退職給付に係る負債	1,102,910	1,123,566
資産除去債務	1,651,339	1,641,712
その他	1,159,502	1,550,140
固定負債合計	3,913,753	4,315,419
負債合計	9,841,353	15,865,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	19,866,198	17,158,968
自己株式	276,159	276,159
株主資本合計	23,531,438	20,824,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,407	38,074
為替換算調整勘定	73,058	54,140
その他の包括利益累計額合計	74,465	16,065
非支配株主持分	1,143,944	1,127,077
純資産合計	24,749,848	21,967,351
負債純資産合計	34,591,201	37,833,250

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	1,897,547	1,425,454
売上原価	6,826,439	4,787,078
売上総利益又は売上総損失()	2,145,108	536,623
販売費及び一般管理費	2,041,216	1,420,038
営業利益又は営業損失()	103,891	1,956,662
営業外収益		
受取利息	552	598
受取家賃	5,599	5,458
為替差益	-	2,547
助成金収入	-	7,985
雑収入	9,243	13,067
営業外収益合計	15,396	29,657
営業外費用		
支払利息	3,679	6,861
店舗解約損	4,129	40,439
為替差損	189	-
雑損失	529	505
営業外費用合計	8,528	47,806
経常利益又は経常損失()	110,760	1,974,810
特別利益		
固定資産売却益	-	610
特別利益合計	-	610
特別損失		
固定資産廃棄損	79,125	61,955
減損損失	110,502	73,840
新型コロナウイルス感染症による損失	-	2,496,665
特別損失合計	189,627	632,461
税金等調整前四半期純損失()	78,867	2,606,661
法人税、住民税及び事業税	106,226	77,544
法人税等調整額	73,899	809,317
法人税等合計	32,326	731,773
四半期純損失()	111,194	1,874,888
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	16,209	16,866
親会社株主に帰属する四半期純損失()	127,403	1,858,022

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純損失()	111,194	1,874,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,996	39,482
為替換算調整勘定	23,325	18,917
その他の包括利益合計	32,321	58,400
四半期包括利益	143,516	1,933,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,725	1,916,422
非支配株主に係る四半期包括利益	16,209	16,866

【注記事項】

(追加情報)

2020年4月7日に新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が政府から発表され、4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大されたことにより、全国の当社店舗は臨時休業となりました。5月14日の緊急事態宣言解除以降、安全対策を万全にした上で順次営業を再開しており、ご予約数も昨年並みに回復いたしました。

このような状況のなか、記念写真需要はゆるやかに回復していくものと仮定しておりますが、感染拡大前の水準まで回復するには12月まで要するものと想定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年5月31日)

当社グループの写真事業では、主として第3四半期の撮影機会(七五三等)が多いため、通常、第3四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ、著しく高くなっております。

2 新型コロナウイルス感染症による損失

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、政府から発令された緊急事態宣言を受け、当社グループの店舗において臨時休業の実施、また、女子オープンゴルフの中止等を行いました。

このため、臨時休業期間中の各店舗において発生した固定費(賃借料・減価償却費等)、女子オープンゴルフ中止に係る費用等、新型コロナウイルス感染症の拡大に起因する損失を、新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	808,514千円	786,030千円
のれんの償却額	199	199

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至 2019年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月28日 定時株主総会	普通株式	849,208	50	2019年2月28日	2019年5月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至 2020年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	849,208	50	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,904,875	66,672	8,971,547	-	8,971,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,463	587,314	592,778	592,778	-
計	8,910,339	653,987	9,564,326	592,778	8,971,547
セグメント利益	111,895	106,890	218,786	114,894	103,891

(注)1. セグメント利益調整額 114,894千円には、固定資産の調整額等 59,265千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 55,629千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては110,502千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,233,989	16,464	4,250,454	-	4,250,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,983	939,531	943,515	943,515	-
計	4,237,973	955,996	5,193,970	943,515	4,250,454
セグメント利益又は損失()	1,945,887	150,081	1,795,806	160,855	1,956,662

(注)1. セグメント利益又は損失()調整額 160,855千円には、固定資産の調整額等 109,499千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 51,356千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては73,840千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純損失金額	7円50銭	109円40銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額 (千円)	127,403	1,858,022
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失金額(千円)	127,403	1,858,022
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,984	16,984

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月10日

株式会社スタジオアリス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千崎 育利 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥村 孝司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スタジオアリスの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スタジオアリス及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。